

## 4年担任 本荘 ひま里 教諭 の紹介

## 「自分らしくチャレンジ」が育む一人一人の輝き

子どもたちは一人一人異なるよさや可能性をもっています。その個性を大切にしながら、自分なりの一歩を踏み出していくことは、これからの時代を生きる上でとても重要な能力です。

4年担任の本荘ひま里教諭の学級では、「自分らしくチャレンジ」という級訓が日々の学びや生活の中にしっかりと根付いています。子どもたちは、自分自身の考えや感じ方を大切にしながら、新しいことや難しいことにも前向きに向き合っていくとする姿勢を見せています。

特に印象的なのは、「自分らしさ」が尊重されている点です。子どもたちは、他の人と同じであることを求められるのではなく、それぞれの違いを認め合いながら、自分なりの方法で課題に取り組んでいます。こうした環境があるからこそ、「やってみよう」「挑戦してみよう」という気持ちが自然と生まれているのだと感じます。



本荘教諭は、子どもたちの思いやつぶやきを丁寧に受け止め、その子なりのチャレンジを大切に支えています。結果だけを見るのではなく、挑戦しようとする過程や努力にしっかりと目を向け、子どもたちの自己肯定感を高めている姿は、まさに教師としての大きな魅力であると感じます。

また、仲間同士が互いの挑戦を認め合い、励まし合う関係が築かれていることもこの学級の大きな強みです。一人一人のチャレンジが学級全体の学びとなり、互いの成長を支え合う温かな雰囲気広がっています。

「自分らしくチャレンジ」という言葉は、子どもたちの生き方そのものにつながる大切なメッセージです。本荘教諭の実践は、その意味を具体の姿として子どもたちに示し、一人一人の可能性をしっかりと引き出していると感じています。